

第1学年 道徳科 学習指導案

第1学年2組 24名

授業者 愛甲 彩乃

分科会テーマ

「主体性を引き出すための導入の工夫」

1 主題名

温かい心 B:親切、思いやり

2 ねらい及び教材名

(1)ねらい

日常生活の中で実際に親切にしようとする態度を養う。

(2)教材名

「ぼくのはなさいたけど」 出典:新しい道徳 1年(東京書籍)

3 主題設定の理由

(1)主題観

本主題は、小学校新学習指導要領解説「特別の教科 道徳」(平成29年3月告示)

〔第1学年及び第2学年〕

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕

相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

〔第5学年及び第6学年〕

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

〔中学校〕

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

を受けて設定した。

(2)ねらいとする道徳的価値

幼児期の自己中心性から脱するための指導上に課題があり、友達の立場を理解することが難しい児童が少なくない。しかし、学級で共に学んだり遊んだり、困っている友達を助けたりする経験を積み重ねることで、友達のよさを感じ取ることができるようになる。

指導にあたっては、身近な友達と仲良く活動する楽しさや助け合う大切さを行動として表れるように支援することが重要である。また、けんかをしたときには友達の気持ちを考え、仲直りできるようにしたい。そのためには、一緒に活動して楽しかったことや助け合って良かったことを想起させながら、友達と仲良くする大切さを育てていく必要がある。これらを通して、親切や思いやりを行動に移そうとする態度を養うことにつながる。

(3)教材観

子ぐまのトトが母の誕生祝いに育てていた花を、もぐらのモイラが病気の母親のために摘んでしまう。最後に残った2本の花のうち1本をモイラに残して、たった1本の花のプレゼントになったが、訳を聞いたトトの母はとても喜んでくれた、という内容である。トトの温かい思いやりの気持ちが文章全体にあふれている教材を通して、温かい心で人に親切にすることの気持ちよさや、相手のことを考えて行動することの大切さ、思いやりの心に迫りたい。

4 児童の実態

本学級の児童は、身近な人に優しくしたり、助けたりすることができるようになってきている。例えば、勉強で分からない人がいたら優しく教えてあげたり、けがをしている人がいたら優しく「大丈夫。」と声をかけたりする姿が見られた。

一方で、自分からすすんで親切なことをしたいという意欲はあるものの、その気持ちの表現の仕方についての指導上に課題があり、児童は自分の都合や周囲の状況に左右されることが多い。また、親切を恥ずかしさから行動に移せない児童もいる。そこで本時では、自分の利害にかかわらず、相手の状況や気持ちを考えて、温かい心で親切にすることの大切さや気持ちのよさについて考え、親切や思いやりを行動に移そうとする態度を育てたい。

5 研究主題に迫るために

(1) グループのテーマ

教材や本時の学習との出会わせ方に課題が挙がった。児童が主体的に学習に取り組むためには、導入で課題意識をもたせることが重要である。そのために、終末での振り返りやまとめにつながるような課題を意図的に構成し、児童が夢中になって課題に取り組めるような魅力的な導入の工夫を検討してきた。これは、児童が「より主体的に学習に取り組み、夢中になって課題を自己解決していける」姿につなげるための基盤となる。事前アンケートの結果から内容項目を自分事として捉えられるようにし、自分の経験についてのふりかえりにつなげる。

(2) 授業者の課題

① 児童の考えを多面的・多角的に広げる発問

児童の考えを深めたり広げたりするための切り返しの発問が十分にできていない。今後は、適切なタイミングで教材理解を促す発問、ねらいに迫る発問、深化・揺さぶりのための発問、問い返しの発問等を使い分けることで、児童が自分の考えを整理し、他者の考えに触れながら課題を自己解決していけるようにしたい。

② 児童が学習に入り込みやすい導入

児童が主体的に学習に取り組める導入を構想できていない。児童の生活に根ざした課題提示を工夫し、学習への興味・関心を高めることで、児童が夢中になって課題に取り組む姿につなげていきたい。

③ 学級経営を意識した授業づくり

OJT グループ内で授業を見合う中で、心理的安全性の高い学級の雰囲気づくりや必要な学習規律の徹底が課題として見られた。どんな意見でも受け入れられ、自分の意見が言いやすい環境は、児童の「聞きたい」「話したい」を増やすことにつながる。児童が主体的に意見を交流させながら、課題を自己解決していく力を育みたい。

(3) 指導における手だて

① 役割演技

主人公の気持ちを役割演技することで、相手の気持ちを想像したり、演じたりするだけでなくその場面を観客として見たりすることで多角的な視点から物事を考えられるようにする。

② 事前アンケートを活用

事前アンケートをフォームで行うことで、視覚的に友達同士の経験を共有できるようにした。また、振り返りの時に、結果を全体に共有することで前時の自分と比較しやすくする。

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

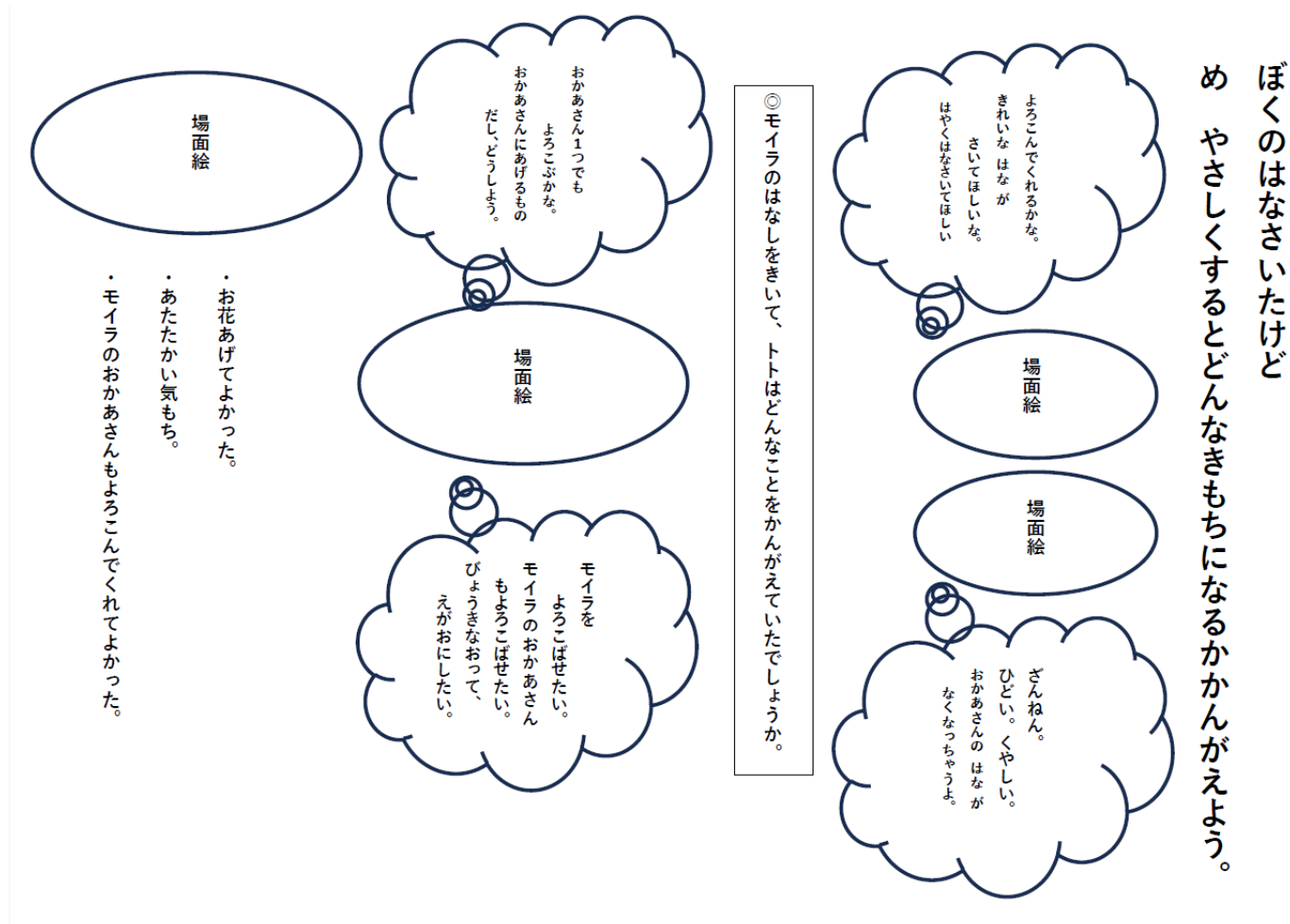
登場人物の気持ちや行動を通して、相手のことを考えて親切にするよさに気づき、自分の生活でも生かそうとする態度を養う。

(2) 本時の流れ

	学習活動(○主な発問・児童の反応)	◇留意点 ☆評価(方法)
導入 10分	<p>1 親切・思いやりについて考える</p> <p>○優しくされたり助けられたりしたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある。 ・ない。 <p>○ある人はどんなことをしてもらいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強を教えてもらった。 ・ボールを貸してもらった。 ・お菓子をもらった。 <p>○優しくしたり助けたりしたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある。 ・ない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>やさしくすると、どんなきもちになるのかかんがえよう。</p> </div>	<p>◇事前にアンケートを行い、振り返りで使えるようにする。</p> <p>◇経験を想起させることで、問題意識を高める。</p>
展開 25分	<p>2 「はなはさいたけど」を読んで話し合う。</p> <p>○トトは、どんなことを考えて花を育てていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん、喜んでくれるかな。 ・きれいなお花が咲くといいな。 ・お母さんが喜んでくれるの、楽しみだな。 ・早くお花咲いてほしい。 <p>○モイラが花を取ったのを見た時、トトはどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕が育てた花なのに。残念。 ・お母さんの花がなくなっちゃうよ。 ・ひどい。・くやしい。 <p>◎モイラの話聞いた時、トトはどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん1つでも喜ぶかな。 ・モイラがかわいそうだから分けてあげよう。 ・モイラもお母さんのためにお花をあげたいよね。 ・モイラ、喜んでくれるかな。 	<p>◇人を喜ばせようと思っていた行動を妨げられたときの気持ちを考え、思いやりの大切さを想起させる。</p> <p>◇教師がモイラ役、児童がトト役で全体役割演技で、気持ちを考えやすいようにする。</p> <p>◇児童の意見を受け止め、肯定的に価値付けことで、安心して発言できる雰囲気をつくる。</p>

	<p>○トトは、お母さんの話を聞いて、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花をあげてよかった。 ・あたたかい気持ち。 ・モイラのお母さんまで喜んでくれた。 	<p>◇お母さんの話を聞いて、自分がしたことが価値のある行為だったことに気付いたトトの気持ちを考えさせる。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>3 自分を振り返る。</p> <p>○これからどんな親切をしたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で遊んでいる子に声をかけたい。 ・仲良くするために、優しく声をかけたい。 ・けがをしたら、「大丈夫?」と声をかけて保健室に連れていきたい。 	<p>☆相手のことを考えて親切にするよさに気付き、自分の生活でも生かそうとする態度を養う。</p> <p>(ワークシート・発言)</p> <p>◇児童がこの学習を通して、次の行動に繋がられるように考えた行動に対し、肯定的な声かけをする。</p>

(4) 板書計画



7 授業観察の視点

- ・内容項目に迫る導入は、児童がより主体的に取り組み、終末で考えを深めるために有効だったか。
- ・多面的・多角的に捉えることができるように、思考を深めるための繰り返し発問ができていますか。